

## 春(令和6年度(2024年度))をむかえる小学校1~4年生のみなさんへ



星のあまみん おりひめちゃん

交野市の教育委員会で教育長という仕事をしている北田千秋といいます。学年もまとめの時期になりました。4月からは、学年がひとつ上がりますね。またひとつ成長するみなさんにつたえたいことを書いていますので読んでください。低学年のみなさんにはむずかしいことばがあると思います。ごめんなさいね。できたら、おうちの方にいっしょに読んでもらってください。

60年ぐらい前、私が保育えんのころ、家でこん虫の足を引っぱっていると、父から「自分が虫やったらどう思う」と言われました。相手の気持ちに立って考えろ、という意味だったと思います。そのことばが気に入ったので、こんどは自分が保育えんの庭で虫の上にタイヤをのせようとした友だちに「自分が虫やったらどう思う」と言ってみたら、「は??」みたいな反応だった思い出があります。



あれから60年近く生きてきました。蚊、ハエ、ゴキブリなどにようしゃなく殺虫ざいをかけてきたし、「自分が虫だったらどう思うか」意識して生きてきてません。でも、何かの時にその言葉を思い出すことがあり、相手がどう思うか、いやな感じは与えていないか、できるだけ考えて生きてきたように思います。

奈良県に、「4年生が日本一育つ学校」を目標にしている学校があります。6年生ではなく小学校4年生です。つまり、4年生にはそれだけの力と可能性があるとということです。でも、4年生で急に力が出るわけではありません。小学校1年生からの積みかさねがあって、4年生で力をはっきできるのだと思います。



1年生のみなさんは、4月になれば新1年生が入学してきます。みなさんが入学してきた時のことを思い出して、やさしい言葉をかけてあげてくださいね。

2年生のみなさんは3年生になります。低学年ではなく「中学年」と呼ばれることがあります。そう、もう学校の中心になれる学年です。

3年生のみなさんは、奈良の学校のように日本一の4年生をめざしましょう。でもそれは、テストの点が一番とかではありません。気持ち、こころが日本一豊かになってほしいという大人の願いです。

4年生のみなさんは、知らず知らずのうちに高学年としての力がついていきます。集会や委員会活動、クラブ活動などを通じて、下の学年のみなさんに5年生としてのカッコいい姿を見てもらいましょう。

みなさんは、おうちの人や先生、友だちといっしょにすす中で、相手の気持ちを考えたり、やさしい言葉が思いうかんだり、知らないうちにいろんな勉強をしています。4月から、またそんないろいろな勉強をしましょう。その勉強は楽しいですよ。